

平成29年木津川市議会第1回定例会

代表質問通告書（2月27日）

1 日本共産党木津川市議員団 西山 幸千子	
質問事項： 子育てができる環境づくりとは	
質問要旨	<p>子ども子育て新システムが始まって3年目。施政方針で市長は、「働きながら子育てできる環境づくり」に努めるとあります。木津川市が描く「子育てしやすい環境」とは、一体どのようなものですか。</p> <p>そこで、以下のことを聞きます。</p> <p>(1) 公立保育園の統廃合と民営化が市の広報きづがわ12月号に掲載されていましたが、市民の中には突然の話と感じられた方が多かったのではないのでしょうか。子ども・子育て会議でも「地域の方々の思いや意見を聞く必要がある」との指摘がありました。保護者も参加し、広く議論する場が必要ではないですか。</p> <p>(2) 4月当初は潜在的な待機児童を除くと定数内に収まっている状態になりますが、例年のように夏以降には国基準でみても待機児童が増えています。市は待機児童対策をどのように進めるのですか。</p> <p>慢性的な保育士不足は、加配保育士が必要な要支援児童が入園できない状況につながります。対応をどのように考えていますか。また、公営と民営での要支援児童の在籍率はどうなっていますか。</p> <p>(3) 公営保育園で、メンタル不調に陥り、休職や離職した職員数は。また、原因をどう考えているのですか。同様に民間保育園の場合はどうですか。</p> <p>(4) 子どもたちの様子や家庭の状況を見ながらの対応は、市が果たすべき本来の役割ではありませんか。公的な責任を放棄して安易な民営化を進めるのですか。</p>
質問事項： いじめ・不登校を教育環境から考える	
質問要旨	<p>学校の中で一番大切なのは、悩んだり困ったりしている時に「助けて」と声をあげられる環境ではないのでしょうか。「いじめ」もうまくコミュニケーションがとれなかった時に発生するのでは。コミュニケーションがうまく取れることは、生きていく上でも、また大人になって働き始めた時にも大きな力になります。</p> <p>(1) 市内の小中学校でのいじめの件数と増減はどうか。不登校はいじめから進んでいく場合が多いと考えますが、認識は。</p> <p>(2) 友だち関係の悪化からいじめへと進まないような手だてとしては、まず初期の対応が大切だと考えますが、どのように考えていますか。</p> <p>ちょっとしたことでも、いじめは本人にとってはとてもつらいもので、まして大人に打ち明けるにはとても勇気がいります。学校と保護者との連携はどのように図っていますか。</p> <p>(3) 相談にのれるように教職員の増員や、教育環境の改善（トイレの改善）などは、いじめ解決への近道ではないですか。</p>
質問事項： 自然の力を生かした防災を	
質問要旨	<p>昨年から防災行政無線が運用開始となりました。また、市内3カ所で防災訓練などに取り組みされましたが、昨年は台風などの災害が少ない年でした。防災に対しての市の取り組みを問います。</p> <p>(1) 防災行政無線について、市民からの苦情内容やその対応は。また、戸別受信機の役割をどう認識していますか。</p> <p>(2) 当尾地域の住民から、「1月16日の停電の時には、パニックになりそうだった」と相談されました。中山間地での災害対策をどのように考えていますか。関西電力など企業との危機管理対応の協議・連携は。</p> <p>(3) 近年のゲリラ豪雨では、想定していない水量や流れ方をすることがあります。12月議会の議決により取得した城山台九丁目の土地について、当面の間、このままで置いておくと聞くが、形状が変わらないから大丈夫とは限りません。市は、「小川水系」の治水対策について、どう考えているのですか。</p>

質問要旨	<p>(4) 農林業の衰退で手入れがされずに増える竹林やなら枯れなどの影響により、土地の保水能力が弱まっています。土地に根付いた生活を行うことで自然災害に対処できるのではありませんか。</p>
<p>質問事項： 普通教室へのエアコン整備は</p>	
質問要旨	<p>12月議会に提出された市民からの「エアコン設置」を願う請願が全会一致で採択されました。それを受けて、今回の当初予算で、幼稚園と小中学校普通教室への空調機設置に向け、調査・設計委託料が提案されました。このことは子どもも保護者も待ち望んでいたことです。</p> <p>近隣の市町村では小学校と中学校で、時期を分けてエアコンの導入を進めています。「PFI」を利用せずに導入を進めたことで、早い決定と設置につながっています。市ではその検討はなかったのですか。</p> <p>(1) 市が行う「PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）」のメリット・デメリットは。</p> <p>(2) 「PFI」では、規模からどうしても大手企業の参入につながり、地元業者の採用とはなりません。市民の多額の税金を使って行う事業として、それでいいのですか。</p>

2 木津川市自民党議員団 森本 茂	
<p>質問事項： 天神山線と東中央線について</p>	
質問要旨	<p>国土交通省が施工する天神山線については、埋蔵文化財の発掘調査で、恭仁京の区画かもしれないという道路跡が発掘されました。今回の遺構は、恭仁京の区画などを決める「定点となるかもしれない」と府埋蔵文化財調査研究センターは期待することのこと。</p> <p>市としては、この遺構について今後どうするのか、お伺いします。</p> <p>また、天神山線の施工スケジュールについてもお伺いします。私の予想では、平成32年ぐらいに供用開始かと思いますが。</p> <p>次に、東中央線の鹿背山口付近のJR関西本線を越える高架橋道路の沿線の住宅から防音壁の要望が出ていると聞いています。また、鹿背山区からも同様の要望が出されているとのこと。これについては、100%要望をかなえるべきです。なぜなら、平成21年11月6日、鹿背山会館で地元大平町との都市計画道路「東中央線」の地元説明会において、市長は「本日の意見については、これから検討させていただく。市としてできることを検討していきますので、お願いします。」と府道天理加茂木津線と東中央線の平面交差をお願いされました。市長は地元の要望が出ている大平町の住民宅に防音壁を設置するべきと考えますが、見解をお伺いします。</p> <p>また、一部の住民宅で高架道路と住宅のレベルが同じになる鹿背山峠町の住民宅では、自動車のライトが、住民宅に強く差し込んでくると思われるので、階段の頂上で道路のガードレールに遮光板の設置をお願いするとともに、開通後もう一度チェックをしていただき、遮光板が他にも必要かどうか検証すべきと考えますが、市の対応をお伺いします。</p> <p>そしてもう1点、低周波被害が起こった時の対応はどうするのか、お伺いします。</p> <p>最後に、万葉歌碑の建立についてです。鹿背山地域は、古く万葉人が自然豊かな風光明媚な土地柄を愛したところ。その鹿背山の玄関口を東中央線が横断するため、鹿背山の風景が大きく変わります。と同時に地元鹿背山等の地権者の協力が大きかったと思われ。それらの意義も込めて鹿背山区からも要望されていると聞いております。「万葉歌碑」の建立について、どう進んでいるのかお伺いします。</p>
<p>質問事項： 市制10周年について</p>	
質問要旨	<p>市民の皆様にはサンタモニカ市と友好都市盟約を締結して、中学生の海外派遣国際交流事業だけでなく、木津川市とサンタモニカ市両市民が交流により、真の意味の国際交流に発展するために「サンタモニカ交流係」の設置をすべきと考えますが、市長のご所見をお伺いします。</p> <p>そして、昭和28年の国鉄の工事で、山城町の椿井大塚山古墳から、邪馬台国卑弥呼の鏡ではないと言われる三角縁神獣鏡33枚が出土しました。しかし、重要文化財として京都大学の所有になってしまいました。出土元の木津川市として、本物の鏡1枚を京大から借りて、市制10周年に市民の皆様に見ていただくようにできないかと考えますが、市長の見解をお伺いします。</p>

質問要旨	<p>もう1点は、市制10周年のアピールと職員意識を高める意味でも、缶バッジを作成しては。費用も安価ですので、検討できないでしょうか。</p> <p>また、3月12日、アスピアやましろで市制10周年の式典が行われます。</p> <p>その会場で、木津川市文化協会の茶道部（一恵会、恵美会、契茶去会、和心会）の4サークルが、お茶席の無料接待をされると聞いております。平成29年度は「お茶の京都」構想のターゲットイヤーでもあるので、サンタモニカ市の方々にも、ぜひとも日本のお茶を味わっていただくことが大切であると考えます。市長のご所見をお伺いします。</p>
質問事項： 「お茶の京都」のイベントで京大ビール等の販売を	
質問要旨	<p>宇治茶をテーマに、お茶生産の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信などに取り組む「お茶の京都」は、平成29年度をターゲットイヤーとし、府南部の12市町村において、多彩なプログラムが展開されるとのこと。</p> <p>本市においては、恭仁宮跡にて、(仮称)ヘウゲモノあーと茶宴 in みかの原と題し、古田織部ゆかりの瓶原で現代風の茶会を開催されますが、そのほかに山城町の茶問屋の皆様方からの「お茶の京都」のイベントはないのでしょうか。また、府の山城郷土資料館等でイベントはないのでしょうか。お伺いします。</p> <p>私は、山城町の交差点の福寿園さんの所で、1年間「お茶の京都」として、お茶席やお茶およびお茶のスイーツ・茶そばなど、お茶関連物品の販売をしていただければと考えていますが、いかがですか。お伺いします。</p> <p>そして、市が持っている鹿背山焼の米山コレクション300点の中から、おうす茶碗に使えるもので、鹿背山の城山台公園（大仏鉄道赤橋のそば）でお茶席を開催してはどうでしょうか。お伺いします。</p> <p>そして、全てのイベントで、京都大学大学院農学研究科附属農場の小麦で作られている京大ビール（ホワイトナイル・ブルーナイル・ルビーナイル・サイファーナイルの4種類）を販売して、木津川市に京大農場があることをアピールしてはいかがでしょうか。市長のご見解をお伺いします。</p>
質問事項： 「環境の森センター・きづがわ」について	
質問要旨	<p>平成28年9月定例会で、焼却炉の耐用年数が20年であることから、新クリーンセンター稼働から20年後の平成50年9月には、その後の延命措置を含め、地元区の鹿背山区、法花寺野区と協議するという覚書を平成30年9月1日までに交わすべきとの質問に対して、いわゆる監視委員会などの組織を立ち上げていただきまして、そこで、定期的に協議をさせていただくと答弁でした。今現在、建設は順調に進んでいると思われまますので、計画通り来年の平成30年4月より試運転となります。公害防止協定書や公害防止監視委員会設置要領を地元で正式に提案すべきではないですか。</p> <p>また、新クリーンセンターは、西部塵埃処理組合の議決も必要ではないかと思われまますので、急ぐ必要があると考えます。市長のご所見をお伺いします。</p> <p>そして、特に監視委員会の委員としては、区長・副区長、総務、環境保全会議の会長、消防団、婦人会の6名を鹿背山区代表の委員とすべきと考えます。ご見解をお伺いします。</p> <p>また、鹿背山浜町前の府道天理加茂木津線の歩道の設置や交通安全対策についての進捗状況は。</p> <p>また、JR奈良線御霊神社西側のガード下の道路拡幅の進捗は。</p> <p>今後、ごみ収集のパッカー車が多数行き来するのにより、交通安全、安心が担保されると思えないので、至急に取り組み、解決すべきです。ご見解をお伺いします。</p>
質問事項： 学校給食と給食センターに係る諸課題について	
質問要旨	<p>和歌山県御坊市給食センターにおいて、平成29年1月25日の学校給食の「磯あえ」により、小中学校・幼稚園で約800人の児童生徒がノロウイルスにかかり、嘔吐、下痢、発熱などにより、各学校が1/27～2/1まで6日間休校となったとのこと。</p> <p>この給食センターは、約2千食の学校給食を18人の調理員で調理されています。</p> <p>センター長は、原因究明についての話の中で、「厚生労働省からの『大量調理施設衛生管理マニュアル』の重要管理事項の(4)調理従事者等の衛生管理の⑨食中毒が発生した時、原因究明を確実にを行うため、原則として、調理従事者等は当該施設で調理された食品を喫食しないこと、となっているのを知らなかった。」と会見されていました。</p>

質問要旨	<p>本市教育委員会は、この厚労省の大量調理施設衛生管理マニュアルどおり各学校給食センターに守らせるべきと考えますが、教育長のご見解をお伺いします。</p> <p>そして、この2月17日山城学校給食センターへ給食を食べに行ってきました。240円で、かみかみきんぴら、大根のそぼろ煮、ごはん、牛乳でした。木津川市地元の調理員の方々に985食を調理されているとのことでした。大変おいしかったです。アレルギー対応もできているし、建物も耐震性は確保されているとの（山城学校給食センター所長より）ことでありました。</p> <p>私は、学校給食センターについては、「食中毒等のリスク分散」は絶対考えるべきで、また、「大規模災害時に地域の食の拠点」としての役割を確保することの、以上2点の意義から、山城学校給食センターを廃止すべきではないと考えます。市長のご見解をお伺いします。</p>
質問事項： 保育所の民営化および幼稚園の認定こども園化と平成29年度待機児童対策は	
質問要旨	<p>「木津川市公立保育所民営化等実施計画（案）概要版」P4によると、市内の私立保育園6園が、本年4月に幼保連携型認定こども園へ移行とのことですが、移行はスムーズに進んでいますか。そして、4月1日までに間に合いますか。お伺いします。</p> <p>また、公立保育園のいづみ保育園とやましろ保育園は平成32年度に認定こども園化。清水保育園は平成36年度に子育て支援センター機能を付加。</p> <p>相楽台保育園は平成31年度に兜台保育園に統合して廃止。兜台保育園は平成31年度に民営化。木津保育園・木津川台保育園は平成32年度に民営化。南加茂台保育園は平成36年度にいづみ保育園に統合し廃止。相楽保育園は平成36年度に子育て世代包括支援センターへ変更となっています。</p> <p>しかし、このうち木津川台保育園は子育て支援センターもしくは、子育て世代包括支援センターか、高齢者のデイサービス施設にすべきと考えますが、市長のご所見をお伺いします。</p> <p>また、この木津川市公立保育所民営化等実施計画に対する、パブリックコメントの結果は、どのような意見が出てきて、どのように計画に反映させたのかお伺いします。</p> <p>また、認定こども園への移行に伴って、保育士と幼稚園教諭両方の免許が必要となります。幼稚園教諭の免許は、更新に行かなければならないので、更新できていない人もいるとのこと。来年度からは、仕事ができなくなるので更新が必要と考えますが、ご見解は。</p> <p>また、公立幼稚園は、将来、民営化や認定こども園化になると聞いていますが、ご見解をお伺いします。</p> <p>また、平成29年度の保育園の申し込み、幼稚園の申し込み、学童保育の申し込みについて、待機児童とならないようにすべきと考えるが、市長と教育長のご見解をお伺いします。</p> <p>また、今年度スタートする幼保連携型認定こども園「藍咲学園」の申し込み状況は、定員に達したのでしょうか。</p> <p>最後に、定員割れをしたときの補助金1人当たり5千円がありますが、9割以上の定員割れのとときにのみ補助金を出すように変更することの聞きましたが、その変更はあまりにも厳しすぎます。変更すべきでないと考えますが、市長のご見解をお伺いします。</p>
質問事項： 職場環境と働き方改革	
質問要旨	<p>電通新入女子社員の過労死自殺から、政府の働き方改革実現会議が、この2月14日、長時間労働抑制のため、1年間の残業時間の上限を720時間（月平均60時間）とする方向で合意したと新聞報道がありました。</p> <p>全ての市の職員は、労働基準法の適用となるが、残業時間の取り決めである「36協定」は、労基法第33条第3項の規定により、協定を結ぶ必要がなく天がないこととなります。しかし、過労死の認定基準は、倒れる前の1カ月間に100時間、または2～6カ月にわたり月平均80時間を超える残業をした場合となっており、職員の長時間残業により過労死とならないためにも、月と1年間の残業時間の上限を決めるべきであります。</p> <p>私は残業について月60時間、1年間720時間の上限とし、全職員に市長名で通達すべきと考えますが、市長のご見解をお伺いします。また、管理職の残業はどうなっていますか。管理職についても同様に上限をもうけるべきと考えますが、市長のご見解をお伺いします。</p> <p>現業職場等は「36協定」が必要だが、できていますか。</p> <p>また、現在、長期休職者の職場復帰に向けた対応はどうなっていますか。</p> <p>最後に、職員のタバコ喫煙者は、吸いがら入れのあるところで、吸うように徹底されていますか、お伺いします。</p>

質問事項： 施政方針を問う

市制10周年を目前に控え、木津川市初代市長として感慨もひとしおではないかと思えます。次の10年に向かってさらなる魅力ある木津川市を目指し、我々議員も共に頑張っていかなければと思っています。

施政方針において、平成29年度に向けた市政運営の基本的な考え方、主要施策について、6つの事業と7つの創造を示されました。

そこで、何点か具体的にお伺いします。

(1) 市政運営の基本的な考え方

① 第1次総合計画の期間が平成30年度で終了し、次の計画に取り組みれるが、今後の策定スケジュールと柱となるものは。

② 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況は。

(2) 主要施策

① 「誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造」

・地域包括ケアシステムの構築や、「健幸都市木津川」の創生を目指し「きづがわスマートウェルネスシティプロジェクト」に取り組みれますが、内容は。

・今後の防犯カメラの設置の予定は。

② 「豊かな心を育む教育・文化の創造」

・木津西部地域に予定されている子育て支援センターの概要は。

・市内の民間保育園6園が幼保連携型に移行するが、内容は。

・市として幼稚園、保育園の窓口を一つにする考えは。

・子育て支援策のさらなる充実のため、働きながら子育てできる環境づくりは重要である。その具体策は。

・予防接種事業の一環として、インフルエンザの予防接種に対して、補助等する考えは。

・いよいよ幼稚園・小中学校の普通教室へ空調設備の整備計画がスタートするが、その具体的な予定は。

・新学校給食センターについて、建設に向けたスケジュール等具体的に決まっているのか。

③ 「環境と調和した持続可能なまちの創造」

「環境の森センター・きづがわ」は、平成30年秋より供用開始予定だが、これを機会にごみの削減や収集方法の改善などに取り組む考えは。

質
問
要
旨

平成29年木津川市議会第1回定例会

代表質問通告書（2月28日）

1 さくら会 谷口 雄一

質問事項： 施政方針より子育て支援に関する施策を問う

市長より施政方針が示され、平成29年度の基本的な考え方と主要施策が明らかとなりました。その中から、主に子育てを取り巻く環境の変化、子育てニーズの多様化に対応し、地域と行政が連携して、子どもを安心して育てるための施策について問います。

(1) 木津川市版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

施政方針の冒頭で、地方創生における国の姿勢について、自分たちの未来を自らの創意工夫と努力で切り拓く意欲的な自治体に対して積極的に支援すると捉え、本市の置かれている現状や将来を見据えた戦略的な取り組みが必要との認識が示されました。

① 5カ年計画（平成27年度～平成31年度）の目標について、改めて分かりやすく説明いただきたい。また、戦略の柱である子育て支援施策についての進捗状況は。

② 地方創生は、まさに自治体間競争であり、創意工夫と努力とスピード感のある施策が必要と考えるが、現状の推進体制は万全といえるか。住民代表等で構成する推進委員会に対して、行政側は地方創生本部会議と地方創生ワーキングチームを統合し、スピード感を持った意思決定体制にできないか。

また、効果の検証については、PDCAのA（アクション、検証結果を踏まえて施策を見直すとともに、必要に応じて総合戦略を改定する）が機能しているかが重要と考えます。市長のお考えは。

(2) 地域子育て支援拠点事業の整備

① 予算案では、現行の東部子育て支援センターの約半分の予算措置となっているが、どの程度の事業規模を想定され、どのような効果を期待しているのか。

今後の利用者の見込み量から想定し、市全体にとって十分な体制となるのか。

② 本市の子育て支援センター事業実施要綱における事業内容については、子育て家庭に対する支援活動等の他に市長が必要と認める事業（第6条第5号）が定められています。

そこで、関連して伺います。

子育て世代包括支援センターは、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略にも掲げられ、妊娠・出産・産前産後・子育て期にわたるまで切れ目のない支援が必要な方のための拠点とされ、平成32年度までの展開を推進しています。

木津西部地域における子育て支援センター整備と併せて検討すべきと考えますが、市長のお考えは。

(3) 幼保連携型認定こども園、藍咲学園の新設

木津川台地域に建設され、竣工日も決まり、いよいよ開園となります。

① 現在も一部、建設工事が続いているが、京都府の事業認可と市の確認はいつ行われたのか。

② 藍咲学園の新設にあたり、昨年6月に市内の民間保育園の事業者である社会福祉法人4法人より市長に対し、要望書が提出されました。要望内容と回答内容について、概要を説明いただきたい。

また、事業者には、本市における質の高い幼児教育・保育を提供いただくためにもしっかりと連携し、情報共有が必要と考えますが、市長のお考えは。

③ 市内の民間保育園6園も幼保連携型認定こども園に移行するが、保護者に対しての周知はどのような方法でなされたのか。その結果、理解は進んでいるのか。

④ 平成29年4月から入園を希望される一次募集の状況と3号認定（3歳未満の保育認定）の結果はどうか。申請時には最大5ヵ所の利用希望施設を記載するとあるが、第1希望先に認定された割合はどうか。

質
問
要
旨

質 問 要 旨	<p>待機児童問題は、予断を許さない継続的な課題と考えます。本市の待機児童の解消対策等ガイドラインは平成27年6月改定となっています。藍咲学園の新設や公立保育所民営化等実施計画の策定が迫る中、最新版への改定予定は。</p> <p>(4) 幼稚園、小・中学校の普通教室への空調設備（エアコン）整備事業の推進</p> <p>民間活力手法であるPFI方式による事業導入可能性調査等の委託費が計上されています。</p> <p>さくら会では、昨年2月に長岡京市、また5月に箕面市・枚方市の視察を行い、いずれもPFI方式によるエアコン導入実績のある先進自治体の調査研究を重ねてきました。</p> <p>そこで、質問します。</p> <p>① 効果的かつ効率的に推進するとされているが、PFI方式のメリットをどのように考えているのか、具体的に説明いただきたい。</p> <p>② 当初、事務手続きの複雑さや事務作業が増加するとの理由から、デメリットが多いとの見解であったが、新たな体制の確保はどのようなものか。</p> <p>いずれは各部の横断的な体制づくりが必要であり、また、総合教育会議での議論を期待するが、市長のお考えは。</p>
	<p>質問事項： 次の10年に向けてビジョンを問う</p>
質 問 要 旨	<p>平成29年度は、これまでのまちづくりを大きく発展・飛躍させるとともに、その魅力や個性を伸ばす「まちの成長期」の初年度と位置付けられました。</p> <p>行財政改革を推進し、将来にツケを残さない、また、もっと強い覚悟の表れとして、将来に禍根を残さないために、持続可能な財政基盤の確立に努めると示されました。</p> <p>また、従前より、魅力ある木津川市について、先人の精神を引き継ぎ、子どもや孫、その先の世代へ引き継ぐとされてきました。</p> <p>改めて、次の10年に向けて、次年度が「まちの成長期」とすれば、成人した木津川市のまちの姿をどのように描いておられるか、市長の思いを伺いたいと思います。</p>

2 さくら会 森本 隆	
質問事項： 施政方針の第2次木津川市総合計画を問う	
質 問 要 旨	<p>市長の平成29年度施政方針が示されました。本市は、平成19年に合併以降、10年間で人口が約8,700人増加し、人口増加が加速する城山台地区を初めとする木津ニュータウン（兜台・相楽台・木津川台・州見台・梅美台・城山台）の人口が市全体の48%を超えるまでになりました。</p> <p>年齢別に比較すると、0歳～14歳は62%、15歳～64歳は52%、65歳以上は29%と、若年層中心に木津地区のニュータウンの住民比率が高くなっています。</p> <p>このような背景のもと、施政方針1つ目の「第2次木津川市総合計画の策定」について、質問します。</p> <p>(1) 市長は現在の市の課題について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) どのようなビジョンに向かって、第2次総合計画を策定していくのか。</p>
質問事項： 施政方針の学研都市の強みを生かしたまちづくりを問う	
質 問 要 旨	<p>施政方針3つ目の「学研都市の強みを生かしたまちづくり」について、質問します。</p> <p>学研都市の企業誘致は近年順調に推移し、去年は、京都大学大学院農学研究科附属農場がオープンされ、市長のトップセールスの大きな成果だと考える。そこで、学研都市から、生み出された成果を市民生活に還元する取り組みについて質問します。</p> <p>(1) 学研都市では、関西文化学術推進機構を中心に、電気の見える化事業、ヘルスケア事業等を推進しているが、国主導のパイロット事業のため、市民生活に定着している事業とはなっていないのが実情である。今までの取り組みでの課題は何か。また、今後、これまでの課題を認識してどう取り組むのか。</p>

質問 要 旨	<p>(2) 学研都市への企業誘致がほぼ完了し、今後は、誘致企業を有機的に結び付ける施策が必要だと考える。例えば、京都大学農場を中心としたフードバレー構想、けいはんな地区で実証実験が可能な自動運転等々が考えられる。市内に住む小中学生が、将来地元に住みたいと思うような最先端の仕事ができる場とその内容を紹介するプログラムを作成できないか。</p> <p>(3) 企業誘致により多くの企業が立地し、市内の雇用が促進した。地元企業の従業員が市内に住む比率が約32%と聞いているが、より多くの雇用を促進するために子育て支援等の市の施策を企業にアピールすべきではないか。そのためにも、市主催の賀詞名刺交換会等のイベントを開催する考えは。</p>
質問事項： 主要施策の誰もが安心して暮らせる福祉都市について問う	
質問 要 旨	<p>主要施策第3の「誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造」について質問します。</p> <p>(1) 団塊の世代が75歳になる平成37年には、本市の75歳以上の人口が約1万1千人を超え、人口構成比率が約15%になる。 医療費、介護給付費削減を目的に、「きづがわスマートウエルネスシティプロジェクト」に取り組むとありますが、具体的な取り組みは。 また、どのような目標を設定して取り組むのか。</p> <p>(2) 安全で安心な生活を実現するために、戸別受信機の配付拡充とあるが、拡充する理由と対象者の基準、設置予定台数は。</p> <p>(3) 犯罪の抑止を目的とする防犯カメラの具体的な設置地域と規模は。また、防犯カメラを設置する理由は。</p>
質問事項： 平成29年度予算案について問う	
質問 要 旨	<p>平成29年度予算の歳入において、市税収入の増加見込みは約2.4億円と微増となっている。歳出は、幼稚園・小中学校普通教室へのエアコン設置、新学校給食センターや、木津川台駅前線的设计に着手等の積極的な取り組みは評価できる。しかし、収支を均衡させるための基金繰入金の額が、約22.6億円と過去最多となっており、このままでは、基金が10年もたないと想定される。</p> <p>そのための考え方について、下記の内容を質問する。</p> <p>(1) 適正と考える基金残高と今後の基金の見通しは。</p> <p>(2) 財政状況が厳しくなる中で、人事院勧告に準拠し、毎年給与改定を実施している。給与改定分の生産性向上、残業代・運営経費を削減する取り組みが必要だと思うが、今年度は、どのような考え方、プロセスで進めていくのか。 また、ワークライフバランスを見込んだ施策、フレックスタイム制の導入、管理職も含めた残業時間管理、健康管理を早急に実施すべきだと考えるが。</p>

3 民主未来クラブ 炭本 範子	
質問事項： 平成29年度施政方針・基本方針・主要施策を問う	
質問 要 旨	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略は2015年から2019年までの5年間で、まち、ひと、しごとの好循環とまちの活性化を生み出す戦略であります。3年目を迎えました。これまでの取り組みは一定の成果はあったと評価いたします。プレミアム商品券の発行、第3子以降の保育料無償化、当尾の郷会館整備、防犯カメラ設置12基、医療費助成を中学校卒業までと多くの事業に充てられました。</p> <p>平成29年度は、まち・ひと・しごと創生を継続しながら、新しい取り組みをどうするのか、お伺いします。</p> <p>(1) 地方創生の取り組みを戦略的に進めるとは（木津川市創生総合戦略の推進）。 平成29年度にかかる継続事業と新規事業は何か。まち、ひと、しごとに分けて説明ください。</p>

質問要旨	<p>(2) さらなる行財政改革・事務事業の見直しとは。</p> <p>① 公共施設の耐震化はどう考えているのか。</p> <p>② 公共施設のあり方と合併推進債の利用について。</p> <p>(3) 子育てしやすいまちづくりとは。</p> <p>① 保育園待機児童、放課後児童クラブの待機児童の状況は。</p> <p>② 幼保連携型認定こども園への移行方法を具体的に示してください。</p> <p>③ 保育士不足対策と処遇改善は。</p> <p>(4) 観光について。</p> <p>① お茶の京都の開催についての進行状況は。また、広域的なDMO（観光地域づくり）が平成28年12月に設立した。平成29年度はもう少し具体的に決まるのか。</p> <p>② みもろつく鹿背山里山学校は引き続き開催予定であるが、今後の開催状況等具体的に示してください。</p> <p>(5) 産業・事業の創造。</p> <p>① 企業誘致活動について、企業と市の産業を結ぶ取り組みは。</p> <p>② 地元雇用促進の考えは。</p> <p>(6) 福祉都市。</p> <p>① 健幸都市木津川の取り組みは。</p> <p>② 災害時の情報伝達の向上とは。</p> <p>(7) 教育・教育環境の充実。</p> <p>① 学校給食センターの進捗状況は。</p> <p>② 普通教室等の空調設備整備事業をPFI方式でどのように推進するのか。</p> <p>③ 英語指導講師の配置は適正か。</p> <p>(8) 豊かな歴史遺産の整備と活用。 高麗寺跡の今後について。</p> <p>(9) 持続可能なまち。</p> <p>① 環境の森センター・きづがわの進捗状況と今後は。また、精華町との協力状況は。</p> <p>② 空家対策計画と空家バンク制度の実態について。</p> <p>(10) まちづくりへの参画と協働。</p> <p>① 協働によるまちづくりとは。</p> <p>② ふるさと応援事業補助金の状況。</p>
質問事項： 均衡のとれたまちづくりを進めるために	
質問要旨	<p>合併10年目を迎えました。施政方針からは、バラ色の木津川市が見えます。しかし、課題も多くあります。まち・ひと・しごと創生総合戦略に組み入れられなかった事業にどのような対策を取ろうとするのか。平成29年度、堅実に市政を進めるために、平成29年度の施策を問います。</p> <p>(1) 平成28年9月の決算特別委員会において、「市民公募型協働事業」の政策提言を行い、先般市長から正副議長に「今しばらく調査研究を進めているところです」との回答があったと聞き及んでいますが、創設はいつになるのか。</p> <p>(2) 過疎対策はどう考えているのか。</p> <p>(3) 農業の振興はどう考えているのか。</p> <p>(4) 女性職員の活躍をもっと推進しては。</p>
質問事項： 教育の課題を問う	
質問要旨	<p>1 子ども貧困対策にどのような手だてをするのか。</p> <p>2 子どもの読書活動推進計画をどう進めようとしているのか。</p> <p>3 南陽高校の中高一貫校に対する市の考えは。</p> <p>4 文化財、歴史遺産に暫定登録制度を活用しては。</p> <p>5 大野の残念石の取り扱いは。</p> <p>6 重要な岡田国遺跡の今後は。</p> <p>7 手話言語条例の制定はいつになるのか。</p>